

ビオトープに関するコンサルティング

ビオトープを生物多様性保全、環境活動、CSRの舞台に



▶ ビオトープとは

- **BIO**は「生き物」、**TOP**は「場所」の意味で、**BIOTOP** (独語)は「地域の自然の生き物がくらす場所」を意味する言葉です。
- 公園、学校、工場緑地などでビオトープづくりが盛んになっています。ビオトープは限られた敷地内に、池、樹林、草地などの様々なタイプの環境を工夫しながら盛り込むことが可能です。
- ここで大切なことは、その小さな生き物がくらす場所を、子どもたちをはじめとする地域の人々やそこで働く人たちが、生き物とふれあい、四季を感じながら「地域の生き物のための環境づくりに積極的に関わる空間」としていくことです。



テクノ中部本店の屋上ビオトープ

都市における自然復元の先駆的な役割を果たした緑化功勞として、「みどりの日」環境庁長官表彰を受賞 (平成11年)

▶ ビオトープの計画・設計から活用推進まで一貫したコンサルティング

STEP1 ビオトープの計画・整備

STEP2 ビオトープでの取組み

- 1 計画地周辺の自然環境調査 (現地調査・文献調査等)
- 2 ビオトープの目標設定 (呼び込む動植物、創出する環境)
- 3 生物に配慮した計画設計・整備
- 4 地域と連携したビオトープ活動体制の構築 (社員、地域住民、大学、小学校等との協働)
- 5 モニタリングによる評価、目標達成に向けた管理方法等の見直し



▶ ビオトープの計画・整備

■ 計画地周辺の自然環境調査

地域の生物多様性や自然史・文化に配慮した計画とするため、現地調査・文献調査等により計画地および周辺に生息生育する動植物を把握します。

■ ビオトープの目標設定と計画・整備

ビオトープに呼び込む動植物の目標種・導入種を選定するとともに、それらの種が生息生育するのに必要なビオトープのかたちを計画設計・整備します。



▶ ビオトープ整備・活用推進体制の構築

■企業・自治体など実施主体様、地元住民、ファシリテーターが連携・協働する**地域一体型協議運営組織**の構築をサポートします。



▶ ビオトープでの取組み

■ビオトープの取組みには、施工、補修などの**ハード的な取組み**と維持管理、生物モニタリング等の**ソフト的な取組み**の大きく2つの取組みがあります。この2つの取組みを有機的に連携していくことで、ビオトープを環境活動、生物多様性保全、地域コミュニケーションなど様々な活動の舞台とします。



■生物モニタリング調査

定期的な生物モニタリング調査を実施し、誘導目標種の生息状況を確認し、管理計画にフィードバックします。

■誘導目標を意識した管理計画

整備当初は大きく手を入れずに様子を見るなど、植生等の変化を考慮し、年間の管理内容を検討します。さらに、中～長期の管理計画策定のお手伝いをします。

■環境学習等の活動

生き物観察会や管理作業など、地域参加型の環境活動を立案します。